学校だより
NO 25
令和６年１月22日発行

倉中だより

伊勢市立倉田山中学校
伊勢市神田久志本町1645-2
校長　金森晃生
電話　２２－９４１５
FAX　２２－２１９８
E-mail
kuratayama@jr.ise-mie.ed.jp

学校教育目標　「心やさしく、思いやりの心を持ち、たくましく、知性豊かな倉田山中生徒の育成」

新しい年になりました
今年もよろしくお願いいたします

１月９日（火）に、倉中の令和６年が始まりました。冬休み中に、大きな事故やけがもなく、生徒のみなさんは元気にスタートを切ることができました。いよいよ新しい年のスタートです。

ただ、１月１日には、石川県を中心に、能登半島地震が起きました。多くの人の命が失われました。さらに安否確認ができない方々もみえます。また、多くの方々が避難所生活をされています。学校も再開できず、友だちとも会えない、勉強もできないそんな園児や児童や生徒もいます。これまで当たり前であったことがそうでなくなっています。このことは、すぐにでも私たちにも起こりえることです。全ての状況に備えることは難しいと思います。でも、自分の命を守ること、命の大切さなど改めて感じてほしいと思います。阪神淡路大震災が29年前に起こり私たちは自然災害の恐ろしさ、命の尊さを実感しました。そして、東日本大震災が13年前に起こり、さらに津波の恐怖を感じ、自然災害に対して人間の無力さと阪神淡路大震災の教訓が生かされたのか、考えさせられました。そして今回。私一人ができることは限られていますが、何かしなければ、何かできることはないかを考えました。倉中の始業式では、なくなった方々のご冥福をお祈りし、全校で黙祷を行いました。一人ひとりできることは当然異なりますが、命の大切さを感じ、何かできることを考えて行動してほしいと思います。

紙面ではありますが、お亡くなりになった方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、救急救助並びに復旧にあたられています関係者のみなさまに感謝いたします。一刻も早い復旧を祈っています。

学校は３学期のスタートでもあります。昨年は冬休み明けに全校集会はできませんでしたが、今年の始業式は全校での集会を行いました。これまで新型コロナウイルスの影響で、多くの教育活動が制限されました。今年は、制限がほぼなくなった教育活動ができると思います。始業式では「充実した休みを過ごした人」という問いかけに、たくさんの人が手を上げてくれました。その反面、「目標をたてた人」という問には残念ながらあまり手が上がりませんでした。特に３年生は、すぐ目に前の目標があると思います。ぜひ、一人ひとり、目標を持って１年を過ごしてほしいと思います。

７日（日）に伊勢市の「二十歳の集い」が開催され、私は中学校の校長として、出席しました。ここ数年は学校別に分かれての集いでしたが、今年は久しぶりに市内の二十歳の人たちが一堂に会しました。倉中出身の二十歳の人たちも出席し、代表を務めてくれた人もいました。私は集いに４回ほど出席していますが、今回はこれまでの集いの中で一番厳粛に行われました。確かに、能登半島地震のこともあったかも知れませんが、集いが始まると、誰一人しゃべったり、あいさつなどの話を邪魔したりする事なく、市長さんのあいさつや二十歳の誓いなど、静かに式が進行されました。各中学校の思い出のスライドの時には、歓声もありました。しかし、大変厳かな雰囲気で終了しました。私は伊勢の若者はなんとすばらしいのだろう、と感心しました。しっかりけじめのある「二十歳の集い」を作り上げた実行委員をはじめ、二十歳のみなさんを素晴らしいと思います。また、その陰には、集いを開催するために多くの人の努力があったことも、みなさんも知っておいてください。中学生のみなさんも、毎日の積み重ねを大切にすることで、人として大きく成長していくのだと思います。今「成人」は１８歳です。みなさんもすぐに成人になります。その時には、責任や判断力が今以上に大きくなります。一日一日を大切に、目標を持って充実させ、自分自身を磨いてください。